

自動車整備技能実習評価試験におけるローマ字表(国際規格(ISO3602)準拠)

あ・ア	い・イ	う・ウ	え・エ	お・オ
a	i	u	e	o
か・カ	き・キ	く・ク	け・ケ	こ・コ
ka	ki	ku	ke	ko
さ・サ	し・シ	す・ス	せ・セ	そ・ソ
sa	※1 shi	su	se	so
た・タ	ち・チ	つ・ツ	て・テ	と・ト
ta	ti	※2 tsu	te	to
な・ナ	に・ニ	ぬ・ヌ	ね・ネ	の・ノ
na	ni	nu	ne	no
は・ハ	ひ・ヒ	ふ・フ	へ・ヘ	ほ・ホ
※7 ha	hi	hu	※7 he	ho
ま・マ	み・ミ	む・ム	め・メ	も・モ
ma	mi	mu	me	mo
や・ヤ		ゆ・ユ		よ・ヨ
ya		yu		yo
ら・ラ	り・リ	る・ル	れ・レ	ろ・ロ
ra	ri	ru	re	ro
わ・ワ		を・ヲ		ん・ン
wa		o		n

- ※ 「じえ」 → 「je」と表記
- ※ 「でい」 → 「di」と表記
- ※ 「てい」 → 「thi」と表記
- ※ 「ふぁ」 → 「fa」と表記
- ※ 「ふい」 → 「fi」と表記
- ※ 「ふぉ」 → 「fo」と表記
- ※ 「ふゅ」 → 「fu」と表記
- ※ 「ちえ」 → 「tye」と表記

が・ガ	ぎ・ギ	ぐ・グ	げ・ゲ	ご・ゴ
ga	gi	gu	ge	go
ざ・ザ	じ・ジ	ず・ズ	ぜ・ゼ	ぞ・ゾ
za	※3 ji	zu	ze	zo
だ・ダ	ぢ・ヂ	づ・ヅ	で・デ	ど・ド
da	zi	zu	de	do
ば・バ	び・ビ	ぶ・ブ	べ・ベ	ぼ・ボ
ba	bi	bu	be	bo
ぱ・パ	ぴ・ピ	ぷ・プ	ぺ・ペ	ぽ・ポ
pa	pi	pu	pe	po
っ・ツ				
※8				

- ※1 国際規格は「si」 → 「shi」と表記
- ※2 国際規格は「tu」 → 「tsu」と表記
- ※3 国際規格は「zi」 → 「ji」と表記
- ※4 国際規格は「zya」 → 「jya」と表記
- ※5 国際規格は「zyu」 → 「jyu」と表記
- ※6 国際規格は「zyo」 → 「jyo」と表記
- ※7 助詞「は」 → 「wa」、助詞「へ」 → 「e」と表記
- ※8 促音の「っ」は、子音を重ねて表記

きゃ・キヤ		きゅ・キユ		きょ・キョ
kya		kyu		kyo
しゃ・シヤ		しゅ・シユ		しよ・ショ
sya		syu		syo
ちゃ・チャ		ちゅ・チュ		ちよ・チョ
tya		tyu		tyo
にゃ・ニヤ		にゅ・ニユ		にょ・ニョ
nya		nyu		nyo
ひゃ・ヒヤ		ひゅ・ヒユ		ひよ・ヒョ
hya		hyu		hyo
みゃ・ミヤ		みゅ・ミュ		みよ・ミョ
mya		myu		myo
りゃ・リヤ		りゅ・リュ		りよ・リョ
rya		ryu		ryo

ぎゃ・ギヤ		ぎゅ・ギユ		ぎょ・ギョ
gya		gyu		gyo
じゃ・ジャ		じゅ・ジュ		じよ・ジョ
※4 jya		※5 jyu		※6 jyo
ぢゃ・ヂヤ		ぢゅ・ヂユ		ぢよ・ヂョ
zya		zyu		zyo
びゃ・ビヤ		びゅ・ビユ		びよ・ビョ
bya		byu		byo
ぴゃ・ピヤ		ぴゅ・ピユ		ぴよ・ピョ
pya		pyu		pyo

注

1. 国際規格では、長音は母音の上の曲折アクセント記号「^」で表記 → 一音一音ローマ字で表記 (大きい→「oki」
例: 大きい→「ôkî」 → 「ookii」
ただしカタカナ語などで、長音がある場合は、カタカナ表記同様長音記号「ー」を使う。
例: ワーク→「wa-ku」
2. 音節の終わりに「n」が来るときは、混乱を避けるため「n」の後に、アポストロフィーを入れ区切る。(国際基準)